



John Mung

He was called

ジョン・マンと呼ばれた男 ～中濱万次郎展

★★★ 2018/12.29 土 ▶▶ 2019/2.24 日 ★★★

[会 場] 高知県立坂本龍馬記念館 新館2階
企画展示室・ジョン万次郎展示室

特別講演会

第1部 特別講演「名を求めなかった男・ジョンマン」講師／山本 一力(作家)

第2部 座 談 会「アメリカの風～万次郎の見た世界」

出演／山本 一力(作家)、北代 淳二(ジョン万次郎研究家)、前田 由紀枝(県立坂本龍馬記念館学芸課長)

日 時：2019年1月26日(土) 13:00～16:00

会 場：新館1Fホール／定 員：100人(無料、要申込・先着順)

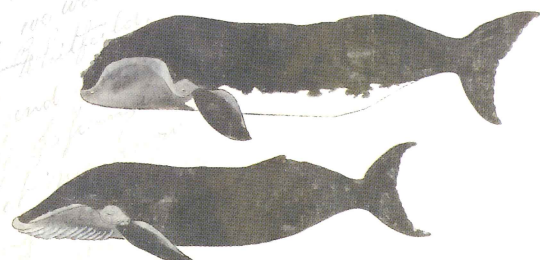
講演会

「幕末と帆船～万次郎が歩んだ道」講師／草柳 俊二(高知工科大学名誉教授)

*ミニライブ「ジョン万が見た海へ」

日 時：2019年2月9日(土) 13:30～15:30

会 場：新館1Fホール／定 員：100人(無料、要申込・先着順)





He was called John Mung

アメリカの恩人へ送った万次郎直筆の手紙など日本初公開

ジョン・マンと呼ばれた男

～中濱万次郎展

土佐出身で貧しい漁民の子・万次郎(1827～98)は、14歳のとき出稼ぎで乗り組んだ小さな漁船で仲間とともに漂流し、奇跡的にアメリカ捕鯨船ジョン・ハウランド号に救出される。船長ホイットフィールドとの運命的な出会いによって、仲間と別れて捕鯨航海に出た万次郎は、船内で「ジョン・マン」と呼ばれ、成長していった。

それから10年。「アドベンチャー(冒険者)」と名づけたボートを手に入れて帰国した万次郎。当時の日本は、鎖国から開国へと大きな転換期を迎えていた。

万次郎は名字帯刀を許される士分となり、幕末の大きなうねりの中で時代を動かす歯車のひとつになっていく。

アメリカの人々にはジョン・マンと呼ばれ、帰国後は中濱姓を名乗るようになった中濱万次郎。その運命的で前向きな生涯を時代とともに紹介し、その人となりを探る。

万次郎にとって恩人であるアメリカのホイットフィールド家と、ブルック家(威臨丸技術アドバイザー・ブルック大尉)に伝わる万次郎直筆の手紙なども、日本で初めて公開する。〈展示資料 約70点〉



★ウィリアム・H・ホイットフィールド(1805～1886)

捕鯨船ジョン・ハウランド号船長

命の恩人であり、民主的な考え方を教えた人

万次郎から船長へ／1848年10月30日付



★ジョン・M・ブルック(1826～1898)

アメリカ海軍大尉

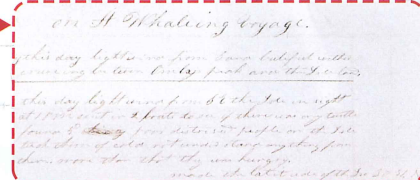
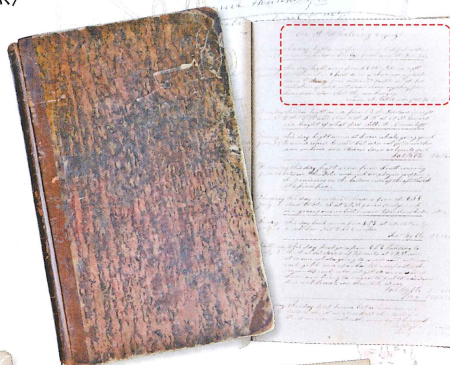
1860年威臨丸渡米時アドバイザーとして乗船した

万次郎からブルック大尉へ／1860年5月7日付



★万次郎が過ごした
ホイットフィールド
船長の家

アメリカ・マサチュー
セッツ州フェアヘイブ
ンに現存し、「ホイット
フィールド・万次郎友
好記念館」として公開
されている



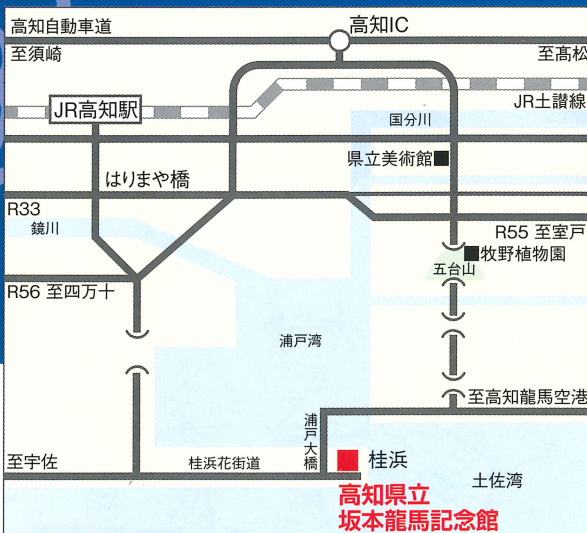
★『ジョン・ハウランド号航海日誌』

1841年6月27日「(万次郎ら)5人の漂流民を見つけた」という記載がある



★『漂義紀略』

土佐藩絵師河田小龍による万次郎らの漂流譚聞き書き。興味深い絵も多く、3種類の写本などを紹介する



- JR高知駅からさでん交通バス「桂浜」行、「龍馬記念館前」下車徒歩約2分
 - 高知駅発着で龍馬記念館などを巡るバス「MY遊バス」(一日乗り放題)もお得です。毎日運行
 - 車・タクシー利用の場合、JR高知駅から約35分、高知空港から約25分、高知インターから約25分
 - 駐車場…普通車42台(うち障害者用駐車場2台)バス4台
- 開館時間 午前9:00～午後5:00／年中無休
観覧料 大人700円・20名以上の団体 560円
- 高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)は無料
- 主 催／高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)
後 援／高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・日本経済新聞社高知支局
共同通信社高知支局・時事通信社高知支局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ
NHK高知放送局・エフエム高知



高知県立坂本龍馬記念館

The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

〒781-0262 高知市浦戸城山830 TEL.088-841-0001 FAX.088-841-0015
HP▶<https://ryoma-kinenkan.jp/> e-mail▶ryoma@ryoma-kinenkan.jp